

(様式 1)

環境配慮検討書

令和 4 年 9 月 2 0 日

三重県環境調整システム推進会議 会長 様

四日市建設事務所長

三重県環境調整システム推進要綱第 4 条の規定に基づき提出します。

対 象 事 業 の 名 称	川越地区海岸 海岸高潮対策事業	
連 絡 先	担 当 課 名	四日市建設事務所 事業推進室 流域・公園課
	電 話 番 号	059-352-0677

1.事業の計画の名称、目的及び内容

(1)名称	川越地区海岸 海岸高潮対策事業		
(2)目的	川越地区海岸は地震時による液状化に伴い、堤体円弧すべりが発生することが判明した。そのため、本事業において円弧すべり防止を目的とした耐震対策工事を行うものである。		
(3)事業主体	四日市建設事務所		
(4)計画内容	計画地の位置 (参考図-1 参照)	三重郡川越町大字亀崎新田 地内	
	建物・施設等の概要 (用途、規模、面積、 配置等) (参考図-2 参照)	計画延長 L=300m 海岸整備工 L=300m	
	用水の使用計画	なし	
	エネルギーの使用計画	なし	
	雨水、汚水の排水計画	雨水：なし 汚水：なし	
	道路・交通計画	なし なお、工事施工時、一般交通については、堤防天端道路を通行止めとし、堤防小段部に切替えの仮設道路を設ける。	
	工期	ア)着工の予定時期 イ)完工及び供用開始の 予定時期	着工：令和4年12月 完工：令和9年4月
(5)関連事業 計画	なし		
(6)その他	なし		

2.計画地の社会的条件の現状等

(1)計画地の社会的条件の現状	交通の現況	堤防天端道路は、市道および民地への進入路として利用されている。
	土地利用の現況	堤内側は、民家、日本ヒューム三重工場が隣接している。
	水域利用の現況	なし
	生活関連施設の現状	生活関連施設の立地状況 a. 学校施設：特になし b. 医療施設：特になし c. 文化施設：川越町総合体育館 d. その他：特になし
(2)関係法令等による地域の指定・規制状況	自然環境保全地域等の指定状況	自然環境保全地域(地区)、自然公園地域(区域)、鳥獣保護区の指定状況 a. 自然環境保全地域 : 指定なし b. 自然公園地域 : 指定なし c. 鳥獣保護区 : 川越町周辺 銃猟禁止区域
	土地利用規制の現況	都市計画法、農業地域振興法、森林法等の規制状況 a. 都市計画法 : 規制あり(市街化区域) b. 農業地域振興法 : 規制なし c. 森林法 : 規制なし d. 砂防法 : 規制なし e. 地すべり等防止法 : 規制なし f. 急傾斜地災害防止法 : 規制なし g. 河川法 : 規制なし h. 海岸法 : 規制あり(海岸保全区域) i. 文化財保護法 : 規制なし j. 景観法 : 規制あり(景観計画区域)

3.計画地の自然的条件の現況

(1)地形 ・地質	文献調査	文献名	平成 25 年度 川越地区川越南地先海岸 海岸局部改良 (地質調査)業務委託 (四日市建設事務所) 令和 3 年度川越地区海岸海岸高潮対策(地質調査)業務 委託(四日市建設事務所)		
	現地調査の有無	有・無	(実施日時 令和 3 年 10 月 令和 3 年 12 月)	聴取調査の有無	有・無
	調査結果等	<p>地形：調査地は、2 級河川朝明川が流下しており、河川沿いには沖積平野が発達する。本調査地は、朝明川左岸の海岸堤防であり、広範囲な干拓・埋立地帯に位置している。付近一帯は、周辺の沖積平野と併せて「北勢海岸低地帯」と呼ばれている。</p> <p>地質：調査区間の地層層序は、堤体、沖積層(Ag、Ts2、Ts1、Yc、Ys)、濃尾層相当層(Ns、Nc)、伊勢神戸層(Is、Ic、Ilg)が堆積している。標高 T.P. -11m 付近までは沖積層の砂層であり、以深 T.P. -31m 付近 m で層厚 20m 程度の粘性土 Yc が堆積している。伊勢神戸層は、洪積層の地層であり、N 値 50 以上の砂質土(Is、Ilg)と N 値 20 程度の固結した粘性土(Ic)で形成されている。</p>			
(2)水象	文献調査	文献名	なし		
	現地調査の有無	有・無	調査の有無	有・無	
	調査結果等	川・湖沼			
	調査結果等	海域			
(3)気象 ・大気質 等	調査の方法	津地方气象台資料(2021 年)(観測所：四日市観測所) 令和元年度版三重県環境白書			
	調査結果	<p>計画地最寄り(四日市)の観測データは次のとおり</p> <p>a. 平均気温：15.9 °C</p> <p>b. 降水量：2004.0mm/年</p> <p>c. 平均風速：1.7m/s</p> <p>d. 大 気 質： SO₂(二酸化硫黄) 0.002ppm(年平均) NO₂(二酸化窒素) 0.013ppm(年平均) SPM(浮遊粒子状物質) 0.019mg/m³(年平均)</p> <p>e. 水 質：類型 C COD 4.1mg/L (四日市(甲) ST-1)</p>			

(4)生態系等	文献調査結果	文献名	三重県レッドデータブック 2015 (三重県農林水産部)		
	現地調査の有無	有・ 無		聴取調査の有無	有・ 無
	調査結果等 植物	<p>植物相の概要：計画地である既設堤防はコンクリートブロック等で被覆されており、植生はほとんど見られない。</p> <p>貴重な植物：計画地周辺において、三重県レッドデータブック 2015 に 16 種の植物が登録されているが、計画地である既設堤防には植生はほとんど見られない。</p>			
	動物	<p>動物相の概要：海側には、ハゼ科魚類、貝類及びゴカイ類が生息し、それらを餌とするシギ・チドリ類等の鳥類が採餌場・休息場として利用している。</p> <p>貴重な動物：計画地周辺において、三重県レッドデータブック 2015 に 105 種の動物が登録されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オオタカ(絶滅危惧 II 類(VU)) ・ミズアブ(絶滅危惧 II 類(VU)) ・ヒロクチカノコ (準絶滅危惧(NT)) ・アシシロハゼ(絶滅危惧 II 類(VU)) ・トビハゼ(絶滅危惧 IA 類(CR)) ・ハクセンシオマネキ(絶滅危惧 II 類(VU)) 他 			

(5)自然 景観・ 文化財 等	文献調査	文献名	なし													
	現地調査の有無	有・ 無		聴取調査の有無	有・ 無											
	調査結果等 自然景観、	<p>自然景観の概要：周辺は川越町総合体育館、排水機場、工場棟が隣接しており、重視すべき自然景観は見られない。</p> <p>貴重な自然景観：特になし</p>														
	文化財、 史跡、 名勝等	<p>史跡・名勝：特になし</p> <p>埋蔵文化財包蔵地：特になし</p>														
野外レクリ エーション他	特になし															
(6)その他、 自然災害等	<p>昭和 34 年の伊勢湾台風により、甚大な損害を受けた。</p> <p>川越町における被害状況</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">・死者・行方不明者</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">173 人</td> <td style="width: 50%;">・罹災人口</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7,322 人</td> </tr> <tr> <td>・全壊住家+流失住家</td> <td style="text-align: center;">353 戸</td> <td>・半壊住家</td> <td style="text-align: center;">905 戸</td> </tr> <tr> <td>・住家床上浸水</td> <td style="text-align: center;">155 戸</td> <td>・罹災戸数</td> <td style="text-align: center;">1,513 戸</td> </tr> </table>				・死者・行方不明者	173 人	・罹災人口	7,322 人	・全壊住家+流失住家	353 戸	・半壊住家	905 戸	・住家床上浸水	155 戸	・罹災戸数	1,513 戸
・死者・行方不明者	173 人	・罹災人口	7,322 人													
・全壊住家+流失住家	353 戸	・半壊住家	905 戸													
・住家床上浸水	155 戸	・罹災戸数	1,513 戸													

4.事業計画の検討内容

	事業計画案		比較検討案	
(1)計画の概要	鋼材を用いた工法		地盤改良工法(固化工法)	
(2)環境評価	<p>循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築</p> <p>人と自然がともにある環境の保全</p> <p>安らぎと潤いのある快適な環境の創造</p>			
-1 地球温暖化防止	○	比較検討案に比べ、施工日数が短く、CO2の排出量が少ない		事業計画案に比べ、施工日数が長くなりCO2排出量が多い
-2 廃棄物対策		天端道路のアスファルト撤去が必要となるため、廃棄物が発生する		既設護岸の撤去が必要となるため廃棄物が発生する
-3 生活環境の保全	○	圧入機により矢板を打設するため振動による護岸への影響は発生しない		固化材注入時に既設護岸の削孔もしくは撤去が必要となるため護岸への影響が発生する
-4 その他重点項目	-	特になし	-	特になし
-1 野生生物等の生育空間の確保	○	既設堤防直下に鋼材を設置するものであり、現況から変化しない		施工中に排泥が発生するため排泥処理の影響が発生する
-2 希少な野生生物の保護	-	特になし	-	特になし
-3 地形、地質等の改変の抑止	○	特になし		既設堤防直下の地質条件が変化する
-4 その他重点項目	○	不透水層(粘土層)に根入れしないため地下水阻害の影響はない	○	不透水層(粘土層)まで改良しないため地下水阻害の影響はない
-1 緑化、周辺景観との調和	○	鋼材は堤体、堤防直下の地中に打設されるため現況から変化しない	○	既設堤防直下の地中のみの改良であり、現況から変化しない
-2 親水等、ふれあい空間づくり	○	鋼材は堤体、堤防直下の地中に打設されるため現況から変化しない	○	既設堤防直下の地中のみの改良であり、現況から変化しない
-3 その他重点項目	-	特になし	-	特になし
上記以外の特記事項	-	特になし	-	特になし

5.事業計画案の環境配慮に係る評価

長所	・現況の環境を維持したまま、耐震対策が可能である。
短所	・堤防天端道路の通行止めが必要となる。
会議で調整を要する事柄	特になし

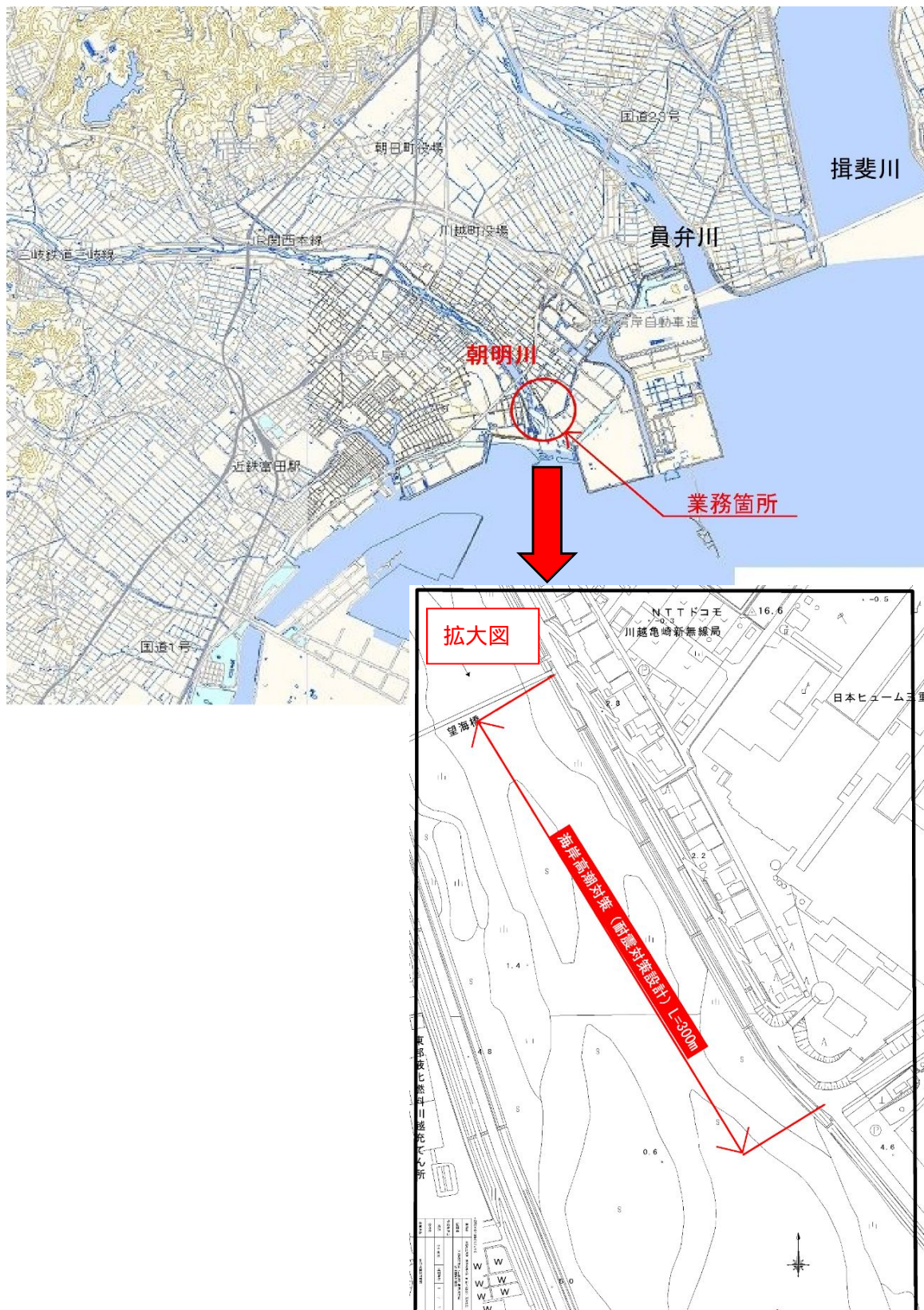
参考図 - 1

海岸名：川越地区海岸

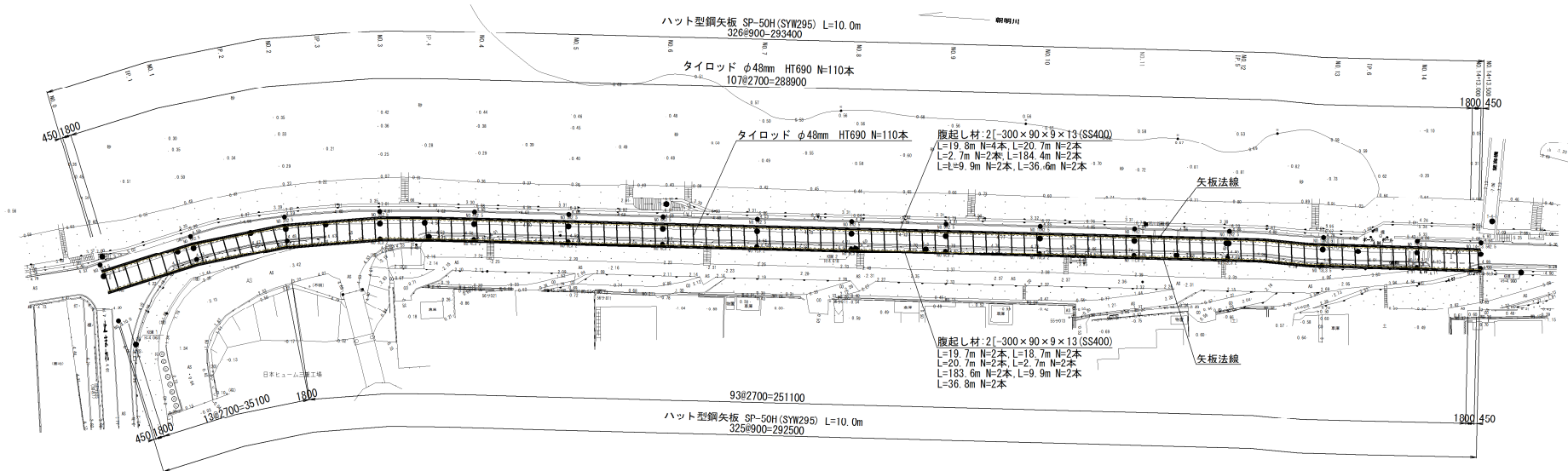
場 所：三重郡川越町大字亀崎新田 地内

延 長：L=300m

位置図



計画平面図 S=1:500



事業計画案 平面図

